

モンスター画家

モンスター画家
4~30人くらい向け



作者 Andrea Meyer, Friedemann Friese, Marcel-Andre Casasola Merkle はみなドイツ在住のボードゲームデザイナー兼出版者。大勢の人と「モンスター画家」を遊ぶのが大好きです。

◆準備

各自、ペンを1本持ちます。もし手頃なついたてが人数分あれば、これを各自に配ると便利です。この「モンスター画家」からシートを人数分だけ切り離し、1枚ずつ配ります。シートの表面には人間の輪郭線が、裏面には名前欄と名前リストが書いてあります。適当な手段で親を1人決めます。例えば美術の成績が一番悪かった人とか。じゃんけんで決めても構いません。

◆ゲーム

各自、これから自分が描きたい人物（あるいはキャラ）1人ないし1体を秘密裏に決め、配られたシート裏面の名前欄にその名前を書きます。他の人に見られないようにしましょう。描きたいキャラはリストから選んでも構いませんし、リストにないものでも構いません（左隣に座っている人などいかがでしょう）。名前を書いたら、シートを点線に沿って縦半分に折り、裏面が内側に隠れるようにします。このシートを、左半身の輪郭線がおもてに来るようにして、手元に置きます。

全員ここまでの準備を終えたら、親が「スタート！」の号令を出します。

号令が出たら全員一斉に、各自が決めた人物の左半身を、他の誰にも見られないよう手元のシートに描いていきます。輪郭線を参考にしながら描くとよいでしょう。なお、シートには数字や文字を書いてはいけません（なので表紙の左半分に描かれた絵は反則です）。左半身を描ききった人は、「ストップ！」と声を出し、手元のシートをひっくり返して右半身の側を表にします。1人を除く全員が「ストップ」したら前半はおしまいとなり、残った1人も描くのをやめて手元のシートをひっくり返さなければいけません。

前半が終わったら全員、手元の（右半身を表に向けた）シートを、そのまま左隣の人の手元に置きます。隣の人からシートを受け取ったら、伏せられた左半身をうっかり見ないよう気をつけながら、このシートの内側の名前欄を自分だけ覗き見て、自分が何の右半身を描かなければいけないか確認します。全員の準備が整ったら、親が再び「スタート！」の号令を出します。号令が出たら全員一斉に、確認した人物の右半身を描いていきます。シートの左半身を覗いてはいけません。右半身を描ききったら「ストップ！」と声を出します。今度はストップしてもシートはひっくり返さず、右半身を表にしたままです。他の人には描いたものが見えないよう、手でシートを覆ってしまってください。1人を除く全員が「ストップ」したら後半もおしまいです。残った1人も描くのを止めます。

最後はクイズの時間です。まずは親が自分のシートの折り目を開き、表面が全員に見えるよう、これを場の中央に置きます（裏面の名前欄を見せないよう気をつけましょう）。そこには左半身と右半身が微妙に、あるいは完全に食い違った人物像が描かれていますので、これを描いた2人を除く全員、この絵が何を描いたものか早い者勝ちで当てます。正体が解ったらすぐ人物名を声に出してください。解答権は1人1回だけなので、1回間違えたら、次の問題に移るまで黙っていないといけません。最初に正解した人に、この絵をプレゼントします。全員が不正解だった場合、この絵は作者2人の間に置いておきます。ここまで終わったら、次の問題に移ります。親の左隣の人がシートを開きます。以降これを、全員分の問題が終わるまでくり返します。

◆得点

正解した1問、つまりプレゼントされた絵1枚につきプラス2点。描いた絵を誰も正解してくれなかった、つまり自分と隣の人の間に置かれた絵1枚につきマイナス1点。得失点を合計します。

◆ゲームの終わり

あらかじめ何ラウンドやるか決めておきます。新しいラウンドを始めるたびに、シートを新しく1枚ずつ配ります。ラウンドごとに得失点を集計します。全ラウンドが終わったらゲーム終了、合計点の最も大きい人の勝ちです。

製造・販売 合同会社ニューゲームズオーダー 東京都立川市柴崎町 3-10-6 イチカワビル2F

illus. KENTOO

www.newgamesorder.jp Made in japan